

授業科目 微生物学

【担当教員名】 尾崎 京子		対象学年	3	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	3	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○			
【概要・一般目標：GI0】					
<ul style="list-style-type: none"> ・微生物の生態について理解する。 ・微生物が人体に対し疾病を引き起こす仕組みを理解する。 					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 微生物に対する人体の防御システムについて概説できる。 2. 微生物の種類を系統だてて分類することができる。 3. 微生物により引き起こされる疾病の特徴を概説できる。 4. 感染症予防対策について概説できる。 5. バイオハザード対策の基本について概説できる。 6. 微生物検査の基本操作を概説できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	細菌学総論	細菌の形態と構造		2	講義
2.3	細菌学総論	細菌の染色法と観察法		6	講義
4.5	細菌学総論	細菌の培養方法		6	講義
6	細菌学総論	滅菌と消毒		4.5	講義
7	細菌学総論	治療とワクチン		1	講義
8	細菌学総論	バイオハザード		4.5	講義
9.10	細菌学各論	好気性または通性嫌気性グラム陽性球菌		3.6	講義
11.12	細菌学各論	グラム陰性球菌および球桿菌		3.6	講義
13.14	細菌学各論	グラム陰性、通性嫌気性桿菌		3.6	講義
15	細菌学各論	グラム陰性、好気性の桿菌		3.6	講義
16.17	細菌学各論	偏性嫌気性菌、偏性好気性菌、微好気性菌		3.6	講義
18	細菌学各論	スピロヘータ、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ		3.6	講義
19.20	細菌学各論	抗酸菌、真菌、ウイルス		3.6	講義
21.22	細菌学各論	検査方法		6	講義
22.23	細菌学各論	同定検査、薬剤感受性検査		6	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床検査講座 微生物学 / 臨床微生物学	岡田 淳 他	医歯薬出版	5,800 円 + 税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・定期試験 					